

製品安全データシート

会社名 アイエスピー・ジャパン株式会社
住所 東京都中央区新川1-6-1 アステール茅場町3F
電話番号 03-5566-8705 FAX番号 03-5566-8682
作成 2000年11月17日
改訂 2001年6月11日

整理番号：

製品名 STABLEZE QM

物質の特定 単一製品・混合物の区別
：単一製品
化学名 : メチルビニルエーテルと無水マレイン酸の共重合物の
デカジエンによる架橋物
含有量 : 100 %
化学式 :
官報公示整理番号：化審法・安衛法：
：
CASNo. : 136392-67-1
国連分類及び国連番号：非該当
PRT法： 非該当
安衛法通知対象物質： 非該当

危険有害性の分類 分類の名称：分類基準に該当しない
危険性 : 可燃性粉体
有害性 :
環境影響 :

応急措置

眼に入った場合 : 清浄な水で十分洗い流す。
コンタクトレンズはすぐ取り外す。
刺激が残るようであれば医師の手当を受ける。
皮膚に触れた場合 : 多量の水及び石鹼で洗い流す。
吸入した場合 : 患者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、安静にして速やかに医師の手当を受ける。
飲み込んだ場合 : 多量の水を飲ませた後、吐かせて医師の手当を受ける。
患者に意識がない場合には、口から何も与えてはならないし、吐かせようとしてもいけない。

火災時の措置

消火方法：

- (1) 消火作業は風上から行い、消火を行う人は防火服及び呼吸保護具を着用する。
消火剤 : 噴霧水、泡(耐アルコール)、粉末、二酸化炭素

漏出時の措置

- (1) できるかぎり拭き取り、回収する。
(2) 下水等に入り込まないように注意する。

取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : (1) できるだけ粉塵の吸入を防ぎ、必要に応じ適切な保護具を着用する。
(2) 粉塵の発散をできるだけ抑え、作業環境を許容濃度以下に保つように努める。
(3) 取扱場所では火気、火花、アークを発する物又は高温点火源を使用しない。
(4) 粉塵の発生する取扱場所で使用する電気機器は防爆構造とし、機器類は静電気対策を講じる。
(5) 強酸化剤及び還元剤との接触をさける。
- 保管 : (1) 防湿に留意して、長期間の保管を避ける。
(2) 乾燥した場所に保管し、容器は密閉する。
(3) 貯蔵場所では常に整理整頓及び清掃に努め、みだりに unnecessary 可燃物を放置しないこと。
(4) 貯蔵場所ではみだりに火気を使用しない。

暴露防止措置

管理濃度 : なし

許容濃度 : 日本産業衛生学会勧告値 (2000 年版)

時間荷重平均 : 未設定

粉塵の場合(第3種粉塵)	吸入性粉塵	2 mg/m ³
	総粉塵	8 mg/m ³

ACGIH(2000)勧告値

時間加重平均(TWA) : 未設定

粉塵の場合(一般粉塵)	TLV-TWA 吸入性粉塵	5 mg/m ³
	総粉塵	10 mg/m ³

設備対策 : 粉塵の発生源を密閉する設備又は局所排気装置を設ける。

保護具 : 保護マスク、保護メガネ等

その他の衛生上の予防措置

- (1) 取り扱い後はうがい、手洗い、洗眼を十分に行う。
(2) 健康診断を定期的実施する。
(3) 安全衛生教育を実施する。

物理 / 化学的性質

外観 : 白色粉末
密度 : -
沸点 : 不揮発性
融点 : データなし
蒸気圧 : 不揮発性
蒸気比重 : 不揮発性

溶解性 : 水溶性有り
その他 :

危険性情報 (安定性、反応性)

引火点 : 無し
発火点 : データなし
爆発範囲 : 上限 - % 下限 - %
反応性 : 一般的な取扱い及び貯蔵においては安定である。
自己反応性 : 特になし

可燃性の粉体である。粉塵の発生する場所では、粉塵爆発が起こる可能性があるので注意する。

有害性情報

刺激性 : 皮膚 うさぎ 微かな刺激性
眼 うさぎ 微かな刺激性 (洗眼の有無共)
感作性 : 人 感作性なし (繰り返しパッチテスト)
急性毒性 : 経口 ラット LD₅₀ 5,000 mg/kg 以上 (1% 固形分)
経口 ラット LD₅₀ 1,500 mg/kg 以上 (100%)
その他の急性毒性 : 光毒性、光アレルギー性 無し
亜急性、慢性毒性及び発がん性 : データなし
変異原性 : 変異原性 無し (エームズテスト 代謝活性物質添加の有無共)
催奇形性 : データなし
代謝・排泄 : データなし

環境影響情報

生分解性 : データなし
生態影響 : データなし

廃棄上の注意

- (1) 廃棄は廃棄物処理免許を持つ処理業者に処理を委託する。
- (2) 焼却処理を行う場合は、有害排ガスが発生する恐れがあるので燃焼排ガスの処理対策を行う。

輸送上の注意

- (1) 車輛等によって運搬する場合、荷送人は運送人に運送注意書を交付することが望ましい。
- (2) 梱包が破れないように水濡れや乱暴な取扱いは避ける。
- (3) 容器の輸送及び運搬は、常にしっかりと固定した状態で行い、特に瓶及び缶は輸送中に互いに衝突して破損することのないようにあらかじめ適当な緩衝物を詰めていく。

主な適用法規

その他

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、通常の取り扱いを対象としたものであって、特別な取り扱いをする場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。

全ての化学製品には未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。

ご使用各位の責任において、安全な使用条件を設定して下さいようお願い申し上げます。

参考文献

- 1) ISP TECHNOLOGIES INC. MATERIAL SAFETY DATA SHEET